

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

藤枝市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県藤枝市

3 地域再生計画の区域

静岡県藤枝市の全域

4 地域再生計画の目標

「拡散型」から「拠点集約型」への都市構造の転換を図った「ふじえだ型コンパクト＋ネットワーク」の概念に基づき、中心市街地への都市機能の集積、中山地域の活性化など都市の魅力やブランド力向上を進めてきた結果、2008年から10年連続で転入超過となり、2010年から6年連続で人口増加を達成するなど自然動態の減少に対し、社会動態の増加で人口減少に歯止めをかけている状態であった。

一方、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は2020年をピークに減少に転じると予測されていたが、2018年には社会動態も減少に転じ、日本全体の流れと同様に人口減少が続く状況が危惧される。

また、2018年度には、高齢化率が29.5%となるなど高齢化率が高まっており、生産年齢人口（15～64歳）は減少し続けている状況であり、労働力の低下や地域活力の低下が懸念される。

こうした状況の中、次に掲げる事項を基本目標に掲げ、人口減少に伴う諸問題を克服し、持続的に定住・交流人口の誘導を進め、活力と持続力ある本市の創生を成し遂げるため、特に子育て世代に訴求する「特徴ある教育」や「充実した子育て支援」を実施し、子どもを産み育てたいまちとしての魅力発信とイメージ定着を図るとともに、市民生活に直結する4K施策（健康、教育、環境、危機管理）を重点的に進め、市民の定着と健康長寿を促進する。また、長期的な人口減少に対応するため、ICT等の先端技術を活用したスマートで、多彩な拠点に魅力が集約したコン

コンパクトなまちを目指す。

- ・基本方針1 コンパクト+ネットワークのまちを創る
- ・基本方針2 産業としごとを創る
- ・基本方針3 ひとの流れを創る
- ・基本方針4 健やかに暮らし活躍できるまちを創る

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	中心市街区域内の居住人口	10,855人	11,180人	基本方針1
	中山間地域における交流人口	306,165人	343,000人	
イ	創業者数【累計】	386人	1,090人	基本方針2
	市税収入額	100%	106%	
ウ	年間観光交流客数	2,520千人	2,570千人	基本方針3
	転入者数	4,691人	4,930人	
エ	出生数	988人	1,100人	基本方針4
	婚姻件数	521件	550件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

藤枝まち・ひと・しごと創生推進事業

ア コンパクト+ネットワークのまちを創る事業

- イ 産業としごとを創る事業
- ウ ひとの流れを創る事業
- エ 健やかに暮らし活躍できるまちを創る事業

② 事業の内容

ア コンパクト+ネットワークのまちを創る

駅前地区の連鎖的な市街地再開発の推進事業、市街化調整区域における拠点形成促進事業等、市の中心部的役割を担う都市機能が集積する都市拠点形成、新産業等の立地誘導を図るため、市街化調整区域における新たな産業用地の確保、中心市街地の快適な歩行空間形成のため、駅前広場や市街地再開発事業の整備・官民連携による活動・交流空間の創出等、個性ある拠点づくりとつながりの強化により、藤枝ならではの多彩な都市の魅力とくらし、しごとの基盤を創出する事業。

イ 産業としごとを創る

大学と連携した高度人材育成事業、女性創業支援事業等、若者の将来的な地域定着を図るため、就職間近の大学生や高校新卒の就職希望者、大学進学等で地元を離れる前の高校生に対して、地域の魅力や活躍する地元企業の情報を提供し、地元企業への就職を促進、生産年齢人口の流出を防ぎ、働きやすい藤枝市を構築するために、資格取得の支援や労働環境の改善等、女性や若者の就労支援強化等、地域産業の健全な発展を応援し、魅力ある新たな産業を生み、若者を惹きつけるしごとと環境を創出する事業。

ウ ひとの流れを創る

ICTプログラミング教育事業やサッカーのまち環境づくり推進事業、藤枝総合運動公園整備事業等、自然環境等の地域資源を活かした教育等、藤枝ならではの充実した教育環境を求める子育て世代の移住・定住促進、女子サッカー選手の育成強化や、商業や観光など多様な主体と連携した幅広い施策展開を通じて、藤枝の特徴と誇りであるサッカーを核としたまちづくり推進、多様な大学の拠点化や産学官の連携による若者の地元定着、地域産業の成長支援を通じて多世代から選ばれる都市を創り、藤枝市へのひとの流れを創る事業。

エ 健やかに暮らし活躍できるまちを創る

若い世代の結婚意識の醸成事業、幼児教育・保育施設整備事業等、定住促進と出生率向上、子育ての不安を軽減し、安心して育児ができる環境を整えるため、多様なニーズに対応できる保育サービスの構築、市民一人ひとりが自ら意識し、心身ともに健康な生活を送れる健康長寿のまちを実現に向けた環境づくり等、出会いを生み、親と子の成長を育み、健やかで生き生きとした暮らしを守る生涯サポート体制を創る事業。

※なお、詳細は第2期ふじえだ健康都市創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,132,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年4月に「藤枝市行政評価システム」による1次評価（内部評価）を行い、毎年9月に外部有識者で構成される「藤枝市行政サービス評価委員会」による2次評価（外部評価）を行い、翌年度以降の事業手法を改良する。内容については、検証後速やかに藤枝市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで